

レジオネラ属菌実技講習会 手順

参考:「公衆浴場における浴槽水等のレジオネラ属菌検査方法」(薬生衛発0919第1号 令和元年9月19日厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課長通知)

500mL以上の容器に入れた滅菌生理食塩水50mLに、本講習会試料1バイアルを加えよく混和

非濃縮検体 1

1mL分取

49mL

滅菌生理食塩水441mLを加え、よく混和

非濃縮検体 2

100 μL × 5回分取

濃縮検体用原液 490mL

濃縮検体用原液の菌数確認に使用した残試料液 489.5mL

冷却遠心濃縮法

ろ過濃縮法

どちらか一法を選択して実施

日常の操作方法に従って遠心分離
(試料液量は任意)

試料液全量をメンブランフィルターろ過

100倍濃縮する
希釈液は滅菌生理食塩水を使用

4.9mL滅菌生理食塩水
にメンブランフィルターを浸す
100倍濃縮

100μLずつ
レジオネラ非選択分離培地
BCYE α 寒天培地
5枚に塗布

100μLずつ
レジオネラ非選択分離培地
BCYE α 寒天培地
5枚に塗布

100μLずつ
レジオネラ非選択分離培地
BCYE α 寒天培地
5枚に塗布

残液を100 μLずつ
レジオネラ選択分離培地
(GVPC寒天培地など)
2枚以上に同時に塗布

36±1°C 7日間好気培養。発育状況に合わせ適宜観察し、レジオネラ属菌と推定される集落数を計測

■ レジオネラ属菌実技講習会手順は、「公衆浴場における浴槽水等のレジオネラ属菌検査方法」(薬生衛発0919第1号 令和元年9月19日厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課長通知)を参考に、本講習会用に変法したものです。

■ 濃縮操作や培地接種操作などの**手技の確認に主眼を置いています**。レジオネラ属菌以外の夾雜菌は入っていないため、日常検査において濃縮加熱処理もしくは酸処理を実施している施設におかれましても、上記手順に従って行った検査法での結果の報告をお願いします。

■ 本手順に記載されていない手技、使用器材(例:冷却遠心濃縮液量、メンブランフィルター材質、培地メーカー、レジオネラ選択分離培地の種類、など)は、各施設の操作方法で行ってください。

■ 各法におけるレジオネラ属菌数は、レジオネラ非選択分離培地BCYE α 寒天培地から得られた集落数から算出し、報告してください。

※1. 日常の試験にレジオネラ選択分離培地を使用している施設におきましては、参考値として、同培地における集落数も計測してください。なお、レジオネラ研究事業において、レジオネラ選択分離培地における集落数は、組成中の選択剤による影響等により、レジオネラ非選択分離培地における集落数に比べ減少することが報告されています。